

伝統の徳山神楽、盛大に奉納 10/13

安倍川・大井川流域に伝承される「駿河神楽」のひとつ

県指定無形民俗文化財の徳山神楽が、徳山神社(徳山地区)にて奉納されました。

勇壮な火の舞や優雅に女子小中学生が舞う四座の舞・天王の舞など15演目が披露され、特にユーモラスな掛け合いが人気の恵比寿・大黒の舞や宇受売・翁の舞が披露されると、訪れた約150人の観客から歓声が上がりました。

徳山古典芸能保存会の山下忠之会長は「大勢の観客の声援が励みとなり大変ありがたい。今後も継承していくために団結して頑張りたい」と力強く話しました。



タイを釣り上げる姿に大盛り上がり

10/15 災害に備え警防調査を実施

川根北分遣所職員が長島ダムの警防調査を実施

川根北分遣所は、長島ダムの避難経路や水利・消防設備等を確認する警防調査を実施し、分遣所職員10人が参加しました。

調査は、年間約1000人の見学客が訪れる長島ダムの管理所外周および堤体内で実施されました。事前に警防調査をすることで関係者との連携を強化し、救急事案発生に備えることを目的としています。山崎明浩分遣所長は「非常に大きな施設で災害や事故が起きた場合、施設職員との連携が大事になる。今回の警防調査で確認できたことは大きい」と意義を語りました。



ダムの堤体内で説明を受ける分遣所職員

赤石太鼓と手筒花火の共演 10/27

「寸又峡もみじ祭り」が盛大に開催されました

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合が企画し、寸又峡イベント広場で開催されました。

和紙のあかり展で優しい灯に囲まれた寸又峡温泉街を天狗と山伏行列が練り歩いたほか、特設ステージではシンガーソングライター大倉百人さんによるギター弾き語りや赤石太鼓保存会による和太鼓演奏が披露され、集まった約150人の観客から歓声が送られました。

また、赤石太鼓と奥大井煙火保存会による手筒花火の共演も練り広げられ、その勇壮な姿が会場を盛り上げました。



▲温泉街を練り歩く天狗



▲赤石太鼓と手筒花火の共演

内面から美しくエクササイズ 10/9

県委託事業「産前・産後の母親サポート事業 2013」

県助産師会は、ママさんを対象にしたサポート事業を山村開発センターで開催し、12人が参加しました。はじめに理学療法士の相馬綾子さんによるエクササイズ教室が行われ、相馬さんは「楽しみながらお子さんと一緒に実践するのがコツ」と話しました。次に3人の助産師による育児相談会が行われ、助産師の富岡ほなみさんは「この町には安心して子育てできる環境がある」と本町の地域性に触れました。参加者の大森早苗さん(徳山)は「楽しくエクササイズを学べた。家でも実践したい」と話しました。



相馬さんの指導でエクササイズを楽しむ参加者

10/19

自然農法でこだわりの米づくり

地名地区でエコツーリズムネットワークが稲刈りを実施



黄金色に実った自慢の稲穂を、丁寧に鎌で収穫

町エコツーリズムネットワーク(中澤荘也会長)の「稲作フィールドワークの会」は、丁寧に育て上げた稲穂の収穫を実施しました。

活動4年目となる今年は、面積約0.1畝の休耕田を借りて4月末に田おこし・5月初旬に田植えを実施し、無農薬・無肥料で育てました。

収穫した稲穂は約300kgの玄米となる見込みで、会員や作業体験者で食べる予定です。稲刈りを体験した緑の協力隊の山崎千晶さんは「みんなで力を合わせて作り上げたこだわりのお米」と出来栄えに自信を見せました。

より良いまちづくりのために 10/17

町議会が議会基本条例に関する講演会を開催

町議会主催の議会基本条例に関する講演会が開催され、全議員と町長以下行政職員を含む約40人が参加しました。

講師を務めた静岡大学の日詰一幸教授は「条例の内容を実現し、政策立案から執行・評価まで、相互に啓発し合いながらよりよい地域経営を行う必要がある」と訴えました。また参加者からの「町民の声を反映させた透明性のある運営とは」との問いに、日詰教授は「議会は町民の声を吸い上げ、意思決定する最終ライン。議論を深めプロセスを明確に」と答えました。



日詰教授の講演を熱心に聞き入る聴講者